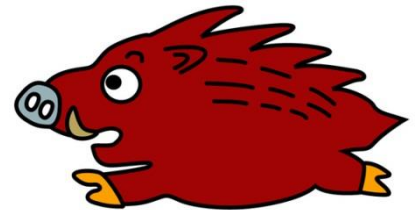
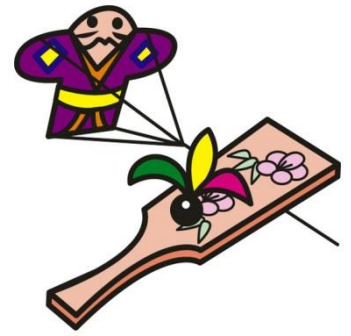


明けましておめでとうございます。

平成最後のお正月は、いかがだったでしょうか。お正月に歳神様を迎えて、歳をとるとというのが日本の昔からの風習です。生まれた年が1歳で、その後は、1月1日に1歳ずつ年齢を重ねていきます。誕生日を基準とした「満年齢」ではなく、生まれた年を基準とした「数え年」です。生まれて1歳というのは、諸説あるようですが、母親のお腹の中にいる期間を0歳と考える説が有力だそうです。

また、今年は、「亥（いのしし）」年です。「亥年」という漢字は、私達が日頃目にしている「猪」という字とは違います。これは「猪」だけでなく、十二支の全ての漢字〔子・丑・寅・卯・辰・巳・午・未・申・酉・戌・亥〕が本来の動物を表す漢字とは違っていています。その理由ですが、本来の字では分かりにくいこともあって、馴染みのある動物の漢字を十二支にあてはめているからです。そのため「十二支の漢字」は、元々動物とは全く関係がありません。実は、十二支の漢字は「植物の様子」を表しているのです。最初の「子」は「種のなかに新しい命が萌え始めた状態」のことで、それに対して、最後の「亥」は「草や木の生命力が、種のなかに閉じ込められた状態」を表しています。種のなかに宿った新たな命が、春になって芽吹くのを待っている時期でもあります。このように「亥年」の「亥」とは、命を次の世代へと繋いで行く大切な準備期間になるのだそうです。そこから「亥年」は、新たな種の成長に備えて、自分を磨き、目標に向けて準備するための1年とも言われています。自分を磨き、粘り強く取り組んでいく1年にしていきたいものです。どうぞ、よろしく申し上げます。



短いですが、大切な3学期が始まりました。



2週間あまりの冬休みが終わって、3学期が始まりました。3学期は、1～5年生が52日、6年生が50日と、大変短い学期になります。しかし、1年間の総まとめをする大切な学期でもあります。また、6年生にとっては、卒業を控え、小学校6年間のまとめにも取り組まなければなりません。

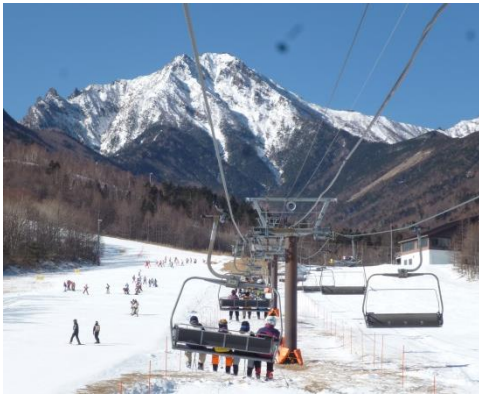
3学期を「1月は行く。」「2月は逃げる。」「3月は去る。」などと言うことがあります。あっという間に過ぎてしまうことをたとえたものだと思いますが、短いからこそ、気を引き締めて充実した学校生活を送らせたいと考えています。

3学期は、インフルエンザが流行する季節でもあります。下山小でも、1年生の児童半数以上が罹患し、16日から18日まで3日間、学年閉鎖の措置を執りました。うがい手洗いの励行など保健指導を徹底しながら流行防止に努めていきたいと思っています。ご家庭でも協力をお願いします。

3学期の主な行事

- 1月30日（水） 学校開放日 給食試食会
- 2月 7日（木） 児童会役員選挙立会演説会
投開票
- 8日（金） 新入児一日入学
- 27日（水） 授業参観 PTA学年部会
執行部会
- 3月20日（水） 卒業式
- 25日（月） 修了式 離任式

冬のスポーツ、スキーを楽しみました。



3学期が始まってすぐ、1月11日に4、5、6年生が参加して、スキー教室を行いました。場所は、北杜市清里にあるサンメドウズ清里スキー場です。

4年生の中には、初めて経験する児童もいましたが、午後には、リフトに乗って斜面の上まで行き、スイスイと滑る姿が見られました。

保護者の皆様には、早朝にもかかわらず、送っていただきありがとうございました。おかげさまで、天気にも恵まれて、とても楽しい時間を過ごすことができました。



上手に書けたかな？ 校内書き初め大会

毎年恒例の書き初め大会が1月15日に行われました。（1年生は、学年閉鎖のため21日に延期されました。）

2学期の終わりから取り組み、冬休み中にも一生懸命練習を積んできました。1、2年生が硬筆、3年生以上は、毛筆です。課題は、1年「ゆうき」、2年「みらい」、3年「とり」、4年「日光」、5年「花さく里」、6年「旅立つ春」です。これまでの練習の成果を發揮して、素晴らしい作品に仕上げていました。

峡南地区の審査会を経て、優秀作品は、県立美術館に展示されることになっています。



3学期の学級役員が決まりました。

学年	学級長	副学級長
3年	宮川 柚葉	深山 美結
4年	石部 璃人	橋爪 大知
5年	竹ノ内利徠	佐野 快吏
6年	榊原 由依	小松 京香

学級のリーダーとして、楽しいクラスづくりに活躍してくれることを期待しています。



[編集後記]

暖冬という予報ですが、やはり冬は冬。寒さ厳しい毎日が続いています。空気が乾燥してもいるので、インフルエンザの流行が始まりました。このまま大きく広がらないことを願っています。

(文責 校長 渡辺 勝)